



研究部だより No.6

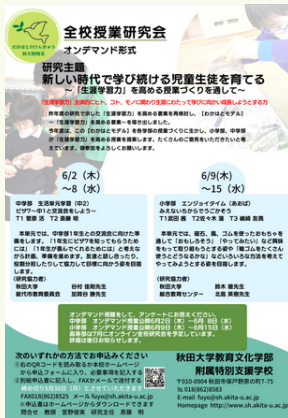
研究主題

新しい時代で学び続ける児童生徒を育てる

令和4年7月発行

～「生涯学習力」を高める授業づくりを通して～

オンデマンド 全校授業研究会参加者から

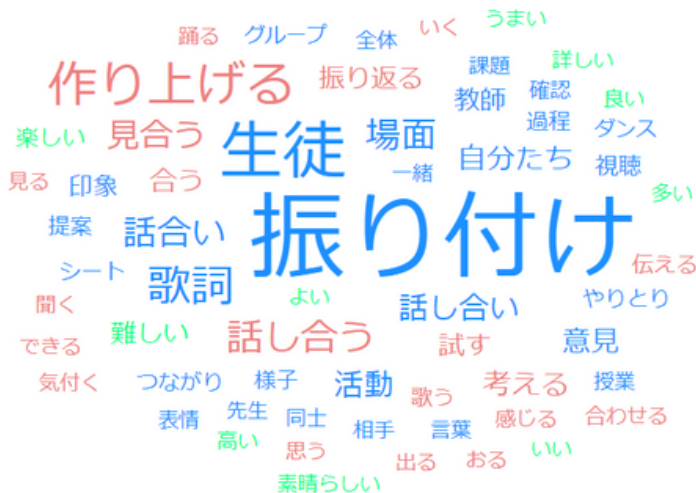
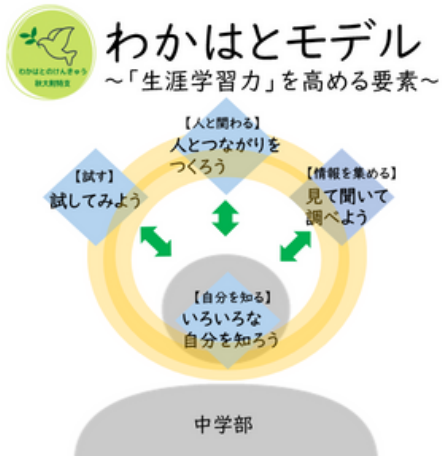


中学部、小学部の全校授業研究会の授業をオンデマンド形式で行いました。オンデマンド形式は、気軽に参加できるよさがありますが、授業の臨場感や子どもの様子を適切に伝える工夫が必要と考え、カメラを3台で授業を撮影し、配信しました。

今回の授業研究会には県外からの参加者を合わせて70名の参加がありました。対面の授業研究会では、今回の開催時期にここまでの人数は集まらなかったと考えます。

本校の取組を他校の皆さんに参観してもらい、たくさんの意見や感想をいただきました。アンケートを基に参加者の声をお届けします。

中学部の授業を参観して（アンケートより）

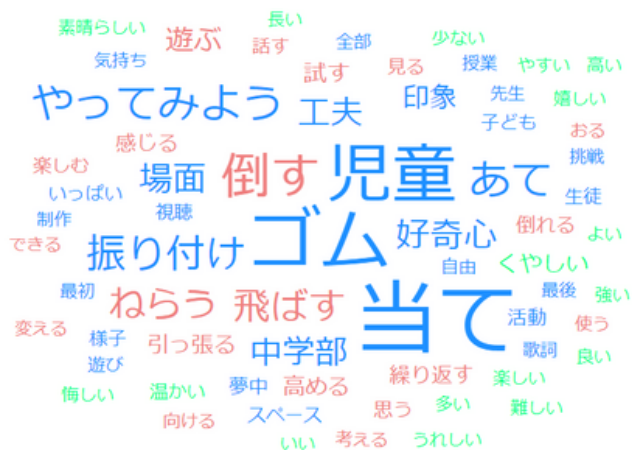


〈参加者アンケートのテキストマイニングから〉

【授業を参観して「人をつなぐをつくろう」や「試してみよう」が見られた姿、印象的な姿について】

- ・決まった歌詞に合わせて振り付けを考える生徒からは「試してみよう」とする姿がたくさん見られた。
- ・音楽という表現活動を取り入れることで、言葉だけのやりとりだけではない生徒同士の関わりが生まれ、楽しく授業に向かっていると感じた。
- ・友達の意見を聞いて、「歌ってみよう」「踊ってみよう」という雰囲気が全体にあった。表現は難しい活動であるが、一生懸命に考えていた。
- ・先生方が仲立ちして話し合いを進め、発言や関わりを引き出していた。
- ・実際に歌った時に「合う」「合わない」など生徒が気付き、トライ&エラーにつながっていた。自分たちで歌詞を作り上げる楽しさが味わえていたのではないかと思います。
- ・振り付けを考え、動いてみる活動は皆さん好きな活動なのではないでしょうか。友達に振り付けについていいかどうか聞いている姿が、自然で印象的でした。
- ・話し合いすることは得意ではないという印象を受けましたが、音楽という表現活動を取り入れることで、言葉だけのやりとりだけではない生徒同士の関わりが生まれ、楽しく授業に向かっていると感じた。
- ・自分の意見をもって、相手に伝えたり、二つの選択肢から友達や先生の意見を聞いてどちらがいいか考えたりと試していた。
- ・「一人だと難しいが、友達と一緒に考えられて楽しかった」という生徒の意見があった。

小学部の授業を参観して（アンケートより）



〈参加者アンケートのテキストマイニングから〉

【授業を参観して「やってみよう」や「試してみよう」がみられた姿、印象的な姿について】

- ・色々なゴムを試しながら的当てをしていた姿。
- ・繰り返し実践する姿、楽しみながら活動に向かう姿が多く見られました。単元の構成が児童の「やってみよう」や「好奇心」を引き出すものになっていたと感じました。学習指導要領の中学部理科のC物質・エネルギー イ風やゴムの力の動きに関する内容だったと思います。
- ・小学部高学年にとって発展的な学習、今後さらに中学部に向けて継続して学べるものと思いました。
- ・グループでやりたい、先生と戦ってくやしかった、ゲームをすることでいろんな気持ちが生まれるんだなととても感動しました。ただ遊ぶだけではなく、その中での気持ちの変化を最後に拾っているT1の先生も素敵だなと思いました。
- ・自分の前の的だけでなく、遠くの離れたところをねらって飛ばしてみる姿が見られた。
- ・子どもが「グループで」と勝負形式を述べた場面、ギャラリーに打った場面。
- ・的の倒し方を自分で工夫しているように見られた（反対側から打ってみる）。
- ・自由に的あてを始めてから、いろいろな方向や距離でのたおそうとしていた児童が多く見られた。
- ・みんなが夢中になって楽しんでいる姿が印象的でした。ゴムを長く伸ばしてかなり遠くまで狙いを定めて飛ばしていた。

「生涯学習力」を高める研究について

- ・各学部の授業のつながりが「生涯学習力」を高める土台となっていることを感じる事ができた。
- ・この活動がどこかで思い出されたときに、生涯学習力が高まったと言えるのではないかと考えた。
- ・自分の得意と苦手分かって、自分なりの方法でできる方法を見つけたり苦手を回避したりすることができれば様々な活動に参加する意欲や、活動の幅も広がり、生涯学習力も高まっていくのではないかと感じた。
- ・研究の概要にもあったが、卒業生の生涯学習力の変容についての見取りが重要だと感じた。
- ・夢中になれること・好奇心のあることを基盤にして、モノや人につながることにとても意味があるのだと思った。子どもたちが安心して活躍できるのは、一人一人の特性やニーズの違いを踏まえた上でつながりミーティングなどチームで教育活動を練り上げた上で展開しているからこそだと思った。

オンデマンド配信をしてみて、90%近くの参加者から「見やすかった」「授業の様子が伝わった」と回答がありました。3画面で編集したこと、3脚で撮影したことなどが見やすい要因として考えられます。本校は、授業をiPadで撮影し、ルマフュージョン（有料アプリ）で画像を3画面にしています。



next→ 全校授業研究会（オンライン）の様子をお伝えします

